

山口市芸術家育成支援事業

第3回やまぐち新進アーティスト大賞

第3回やまぐちACS賞 (*The Artist of Citizens Selection*)

応募アーティスト数：11名

最終選考 候補者：6名

カバノ木カバ子 (35)

佐伯 和章 (36)

林 隆雄 (38)

保手濱 拓 (30)

松村 憲治 (36)

吉村 大星 (18)

(50音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

(総 評)

やまぐち新進アーティスト大賞審査会も3度目となると、これまでの受賞者の展覧会が大盛況であっただけに、審査も期待感に充ちていた。投票を獲得した(受付順に佐伯和章、林隆雄、保手濱拓、松村憲治、吉村大星、カバノ木カバ子)の作品を入念に、多角的に議論を重ね、結果として、環境と建築をテーマにリサイクル素材も視野に入れ、グローバルな交流を意図している金属造形作家松村憲治氏を選出した。

今後、更に専門的な知識とスキルを磨き上げることを前提に活躍が期待できる。

(第3回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

石や煉瓦を構築して建造される建築物では、鍛鉄や鋳鉄といった技法による門扉や柵、手すりなどに、機能的な意味を超えたところで高い美的価値が見出されてきた。すなわち、重厚で厳格な構造材と軽快で強靱なそれとの対比によって創出される、空間の解放性を求める美意識だ。欧州各地ではいまもビザンチン以来のその長い歴史と伝統が息づいている。

建築士である受賞者のアイアンワークの目的のなかにはその美意識に共通する感性が潜んでいる。ありふれた素材を自在に操って身近な建築空間や環境に働きかけていくというこの造形行為は、既成の彫刻概念とは違った方向で立体造形の可能性を拓けるものだ。そこに新鮮さと力強さを読み取って、今回の選考結果となった。ただし既製の建築部品を安易に造形素材に転用するという中途半端さは全くいただけない。自己の造形思考の基礎とするべき素材は厳密に吟味して用いるべきだ。一層の深慮と飛躍を期待する。

(第3回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 石崎泰之)

・・・第3回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)
井生 文隆 (山口県立大学教授)
石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長)
小田 善郎 (画家)
大和 保男 (陶芸家)

(50音順・敬称略)

・・・第3回やまぐちACS賞審査委員会審査委員・・・

市民審査委員10名

・石川 康恵 ・臼杵 万理実 ・岡村 千代子 ・川上 久美子
・田中 寛恵 ・西谷 清子 ・山口 智子 ・山田 洸一郎
・山本 小百合 ・吉田 朱里

(50音順・敬称略)

「第3回やまぐち新進アーティスト大賞」

受賞者（アーティスト名）：松村 憲治
肩書き：金属作家

PROFILE

1974年 山口県防府市生まれ（36歳）
高校2年生の時、アメリカ合衆国メイン州に
1年間の語学留学、帰国後1993年より3年間
デザインを学ぶため再び渡米。ニューヨーク
のパーソンズデザインスクールで建築環境デ
ザインを学ぶ。その後、2年間でカナダ（バ
ンクーバー）、フランス（リヨン）と移り住
み、デザインの仕事に就く。帰国後は造形を学ぶため県内の鋳造メーカーに勤め、
オブジェやストリートファニチャーの製作に従事する。現在、自身の創作意欲を
湧き立たせるという自然豊かな山口市徳地の工房を拠点に創作活動中。



受賞コメント

この度は「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞させていただきありがとうございます。

今回の作品「K I Z U N A」は、私（自分）と親と祖父母の三世代の交わり＝「絆」を表現しました。この作品で大賞がいただけたことは今後の自分自身の創作活動において、「人間」、「自然」、「社会」の出来事や関係性を「鉄」や他の素材等の無機質な物質で表現、創造し多くの方々に客観的に「見えないものを見せる」ということを創造し続けていくという自信となりました。今後はこの「絆」をもっと強く、そしてもっと広げていくためにも国内外に問わず、活動の場を広げ、多くの人と交流し、文化・芸術の交流にも努めて参りたいと思います。

最後に、このような創作の機会を与えていただき誠にありがとうございました。

（やまぐち新進アーティスト大賞審査対象作品「K I Z U N A」）



「第3回やまぐちACS賞」

The Artist of Citizens Selection

受賞者（アーティスト名）：佐伯 和章
肩書き：彫金作家

PROFILE

1974年山口市生まれ。山口育ち（36歳）。山口市宮野在住。1997年九州産業大学芸術学部デザイン科クラフトコース卒業。2003年より彫金作家として山口県内を中心に活動を開始。現在山口駅通りにアトリエを構え展示会や彫金教室など活動中。

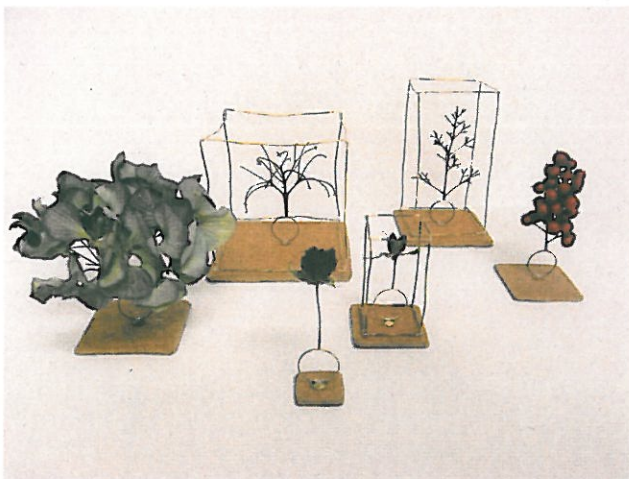


受賞コメント

今回やまぐちACS賞に選んで頂き大変嬉しく思います。これまで私の活動を支えて下さった方々に心より感謝申し上げます。

私は普段銀細工を主としたアクセサリー製作に取り組んでいます。いつも作っている作品とは違った表現形体で臨んだ今回の作品に賞を頂いた事によって、また新しい自分の一面を知る事も出来とてもいい機会になりました。今後もたくさんの人の心を動かせるような作品が出来るように日々を楽しみながら制作していきたいと思っています。

（やまぐちACS賞審査対象作品）



左奥：「環（リング）紫陽花」

中前：「環（リング）薔薇」

右奥：「環（リング）南天」